

1 審査対象事項	研究計画 研究成果の出版・発表 ◀審査が必要と認められる研究等
2 研究課題	婦人科癌における遺伝子多型解析
3 研究者名	大阪がん予防検診センター 婦人科検診部部長 植田政嗣
4 研究協力者名	大阪がん予防検診センター 臨床検査室室長 田路英作 大阪がん予防検診センター 婦人科検診部名誉部長 野田 定
5 研究の概要	<p>遺伝子多型 (genetic polymorphism) とは、ある塩基の変化が人口の1%以上の頻度で存在するものと定義されており、多くの場合1つの塩基が他の塩基に置き換わっている single nucleotide polymorphism (SNP) の形で現れる。これまでに高血圧、糖尿病などの生活習慣病、膠原病や癌などの慢性難治性疾患において、発症関連遺伝子の SNP 解析が行われ、各疾患の予防や予後管理に役立てられてきている。癌は生まれながらの体質 (遺伝素因) と病原体や生活習慣などの影響 (環境因子) の両者が複雑に絡み合って生じる疾患であるが、近年、宿主側因子として種々の発癌関連遺伝子多型の関与が注目されている。本研究では、固形癌の発症関連遺伝子 (cancer susceptibility gene) として、環境発癌物質解毒酵素 glutathione-S-transferase (GST)、癌抑制遺伝子 p53、細胞増殖シグナル伝達遺伝子 HER2、アポトーシス誘導因子 Fas 等に着眼し、子宮頸癌、体癌、卵巣癌患者におけるこれら発癌関連遺伝子多型解析を行い、今後の癌発症予防や追跡管理あるいは個々の患者に応じた至適薬剤の投与など、婦人科癌における遺伝子診断や個別化医療に役立つ疫学的データを集積することを目的とする。</p>